

目指す姿

人がにぎわい、人と交流できる街

現状・課題・強み・弱み 等

- 1 農林業
 - ・遊休荒廃地が多い。有機農業者が少ない。
 - ・長野県産木材の活用が不十分
- 2 商店街
 - ・商店街に活気が無い。（開放的でない、若者が少ないなど）
 - ・シャッターを下ろしている商店が多い。
- 3 交通
 - ・松本空港が十分に活用されていない。
 - ・外国人観光客向けの環境が整備されていない。

目指す姿を実現するための取組・方策

- 1 農林業
 - ◎地元の農産物を売る店を増やす。
 - ◎有機農業者を増やす取組
 - ◎長野県の木材を地元の人が簡単に利用できる取組
 - ・都会の農業をやりたい人が簡単に農業ができる仕組みづくり
 - ・地元の野菜を積極的に仕入れてくれる店を増やしたい。
 - ・温暖化が進行してもゆらがない農業政策（20年、30年後を視野に入れる。）
 - ・有機農家が安心して農業ができる県
 - ・生ごみを有機肥料にかえ、安価に売れる仕組みづくり
 - ・間伐材を県内にもっと普及させる。県内でつくる家は県内の木でつくる仕組みづくり
 - ・震災後でも食の安全が確保された街になって欲しい。
- 2 商店街他
 - ◎無料ライブ会場や無料で利用できる公園、運動場を設置し、商店街に若者向けのセレクトショップ、安いカフェをつくり、そこで休憩したり、ショッピングを楽しんでもらう。
 - ・若者に楽しんでもらうために娯楽施設を増やす。
 - ・商店街だからこそ売れるものをつくる。（学生がつくったもの、伝統野菜等）
 - ・小物ショップが欲しい。商品の値段を安くして欲しい。
 - ・大きなデパートに若者向けのセレクトショップ、服屋を入れる。
- 3 交通
 - ◎空港の利用促進
 - ◎交通の利便性の向上
 - ◎外国人の訪れやすい街づくり
 - ・各市町村に道の駅を設置（自然を壊さないことが大前提）
 - ・外国向けに長野県の食材を売る。（外国向けの看板設置）
 - ・サッカー等スポーツを用いた松本空港の活用
 - ・アウトドアブームに乗った観光促進